

□ 要請番号 (JL10619B15)

募集終了



国名	職種コード 職種	年齢制限	活動形態	区分	派遣期間	派遣隊次
フィジー	H131 栄養士	20～45 歳のみ	個別	交替 3代目	2年	・ 2020/1 ・ 2020/2

【配属機関概要】

1) 受入省庁名（日本語）

保健・医療サービス省

2) 配属機関名（日本語）

北部保健局

3) 任地（ランバサ） JICA事務所の所在地（スバ市）

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間（飛行機で約1.0時間）

4) 配属機関の規模・事業内容

フィジー保健局は、中東部保健局、西部保健局、北部保健局の3つの地域支部に分かれており、配属先である北部保健局はバヌアレブ島、タベウニ島の4地区(Sub-division)を管轄している。局内には栄養士や看護師、NCDs対策専門員が所属している。また、併設されたランバサヘルスセンターには、地域看護、母子保健、学校保健、歯科、栄養などの部門担当者が勤務している。保健局の栄養部門担当者は管轄地域内のヘルスセンター等に所属する11名の栄養士(2019年7月現在)を統括している。

【要請概要】

1) 要請理由・背景

大洋州諸国では、主に生活習慣病を対象とした非感染性疾患(NCDs(Non-Communicable Diseases))対策に取り組んでいる。フィジーでも生活習慣病が深刻な問題となっており、食生活改善や運動促進などの啓発活動が進められている。こうした動きへの支援の一環として、現在、3名の栄養士隊員が各地の保健局や病院等で活動しているが、本件はその内、フィジー北部地域の中核機関への派遣である。配属先は北部全体を管轄する保健局で、地域の住民への栄養指導や各種啓発プロモーション活動、栄養状況の調査等を中心とした幅広い活動を行っている。現在活動中のJVはこうした業務を支援しており、小学校における昼食(弁当)の調査・改善に向けた活動にも力を注いでいる。NCDs対策には継続的に地道な取り組みが必要であり、引き続きJICA海外協力隊の支援が求められている。

2) 予定されている活動内容（以下を踏まえ、隊員の経験をもとに関係者と協議して計画を立て、柔軟に内容を変更しながら活動を進めます）

配属先栄養士(北部栄養士統括者)や管轄下の地域栄養士と協力し、以下の活動を行うことが期待されている。

1. 小学校での栄養教育活動を支援する。子どもの食事の実態を把握し、子どもだけでなく、親や教員に向けた栄養教育を推進する。
2. 配属先やヘルスセンターが行う地域巡回活動に同行し、住民の栄養状況調査や栄養指導を支援すると共に、必要に応じ、地域看護師へのアドバイスを行う。
3. 配属先が行う様々なプロモーションイベントの実施・運営をサポートする。
4. 同僚栄養士らに対し、Excel等を用いたデータ処理・分析能力の向上を支援できればなおよい。

3) 隊員が使用する機材の機種名・型式、設備等

体重計、血圧計、身長計などの計測機器
一般的な事務機器

4) 配属先同僚及び活動対象者

配属先責任者(栄養士):女性、大卒、50代

同僚栄養士: 30代男性1名、40代女性1名、その他 北部各地のヘルスセンター等に20～40代の計9名の栄養士が所属して

いる。

5) 活動使用言語	6) 生活使用言語	7) 選考指定言語
英語	その他	英語(レベル:B)

【資格条件等】

[免許]：（栄養士）
（管理栄養士）

[性別]：（ ） 備考：

[学歴]：（ ） 備考：

[経験]：（実務経験）3年以上 備考：現地栄養士への指導のため

任地での乗物利用の必要性

不要

【地域概況】

[気候]：（熱帯雨林気候） 気温：（20～35℃位）

[電気]：（安定）

[通信]：（インターネット可 電話可）

[水道]：（安定）

【特記事項】

※配属先から提供される住居に同性のJVと2、3人で同居となるか、もしくはホームステイになる可能性がある。